

営農指導員の
ワンポイントアドバイス
番外編

このコーナーは、営農指導員から農業のちよつとしたこつをお知らせしていますが、今回は作った野菜などを出荷できる農産物直売所「比和の特産市場」を紹介しませ

比和の特産市場へ
出荷してみませんか？

吾妻山の麓、豊かな自然に囲まれた比和町にある直売所が比和の特産市場です。ここでは、主に町内で採れた新鮮な野菜やキノコ類のほか、加工品などの地場産品を取りそろえています。特にかしわ餅と漬物が売れ筋です。

毎週土・日曜日だけの営業なので、生産量の少ない小規模農家でも自分のペースで無理なく気軽に出荷できます。

出荷者が交代で当番するため、直接、買い手の反応を見ることが出来るのも楽しみの一つです。



比和の特産市場の会員（出荷者）になるには？
特別の要件はありません。まずは、問い合わせください。
年会費 1500円

比和の特産市場の概要

▼商品の価格は、市場の価格などを参考に出荷者本人が決定します。

▼商品の持ち込みは、出荷者が行う必要があります。

▼売れ残った商品は、原則として当日の販売終了後、出荷者が引き取る必要があります。

営業日
毎週土・日曜日の8時～12時
(4月～12月のみ営業)



問い合わせ

比和の特産市場
0824・85・2882
比和支所地域振興室
0824・85・3003

庄原が好き

このコーナーでは、人と人とのつながりや暮らしのストーリーを、シリーズで紹介しています。まちを知り、地元の魅力を発見することで、人を、まちを、もつと好きになりますように。



「お通り」で母衣行列の着付けに携わる
細川 理恵さん

思いを引き継ぐ

現在は引き継いだ新たなメンバーで事前に母衣の状態を確認し、衣装一式をそろえ着付けをします。

小母衣を背負った小学生が数年後、大母衣を背負い参加してくれると、自分たちが大切に受け継いできたものが、子どもにも伝わっているのを感じてうれしくなります。

東城町の一大イベント「お通り」に、裏方の一人として関わる細川さんにお話を聞きました。

「お通り」との出会い

私は広島市で生まれ、小学校時代を庄原市で過ごした後、中学校からは庄原市を離れました。その後、広島市内で就職して働いていた時、東城町出身の夫と出会い、結婚を機に東城町に移り住みました。その時、近所に住む女性のお二人が優しく受け入れてくれました。

その二人は「お通り」の復活に関わっており、約30年前から町内の人と協力し、提供された着物を直したり守ったりしてきた中心的な人です。その人から、着付けを手伝ってもらえな

いかと声が掛かり、少しでも力になればと思いい、以来毎年「お通り」に関わるようになりました。

問い合わせ

自治定住課定住推進係
0824・73・1257